

2016年版惣菜白書ーダイジェスト版ー

一般社団法人日本惣菜協会

一般社団法人日本惣菜協会では、昭和55年より惣菜に関する調査研究を開始し、惣菜の業態別市場規模や事業者動向、消費者動向などを取りまとめた「惣菜白書」として刊行し、創立37周年を迎える今年で12回目となります。

「惣菜白書」は、惣菜が生活者の食生活に欠かせない社会的なインフラとして成長してきた過程を毎年追跡し、業界の現状を広く把握、白書としてとりまとめると同時に、行官界においても発表資料として活用されています。惣菜業界唯一の基礎データ集として、行政、大学、研究機関、マスコミなど業界外からも注目を集めております。

2015年の市場規模(見込み)は9兆5,881億円となり、毎年成長を遂げております。このように市場が拡大していることは、生活者のニーズが変化していく中、惣菜には高い期待が寄せられている事の表れだと考えます。その期待に応えるべく、更に誠実に生活者のライフスタイルの多様化に対応していく必要性を感じているところであり、また同時に、業界の健全な発展と山積する課題解決のために活動していかなければならないことを痛感しています。

本書の発刊にご協力頂きました皆様に感謝するとともに、本書が惣菜産業の更なる発展のために、各企業の成長に役立つ指針となれば幸甚でございます。

惣菜の定義

市販の弁当や惣菜など、家庭外で調理・加工された食品を家庭や職場・学校・屋外などに持ち帰ってすぐに(調理加熱することなく)食べられる、日持ちのしない調理済食品としている。したがって、事業所向け給食および、調理冷凍食品やレトルト食品など比較的保存性の高い食品は除いている。

米飯類・・・おにぎり、寿司、弁当など

調理麺・・・調理済み焼きそば、うどん、割りこそば、スパゲティーなど

調理パン・・・サンドイッチなど(※一般に常温売場で販売されている菓子パンは含まれない)

一般惣菜・・・和・洋・中華の惣菜、煮物、焼物、炒め物、揚物、蒸し物、和え物、酢の物、サラダなど

袋物惣菜・・・“容器包装後低温殺菌され、冷蔵にて1カ月程度の日持ちする調理済包装食品” ポテトサラダ等のサラダ、肉じゃが、鯖の味噌煮など

「惣菜白書」について

惣菜市場の算出方法

業態別に代表的な企業を抽出し、企業の本部に対して惣菜販売額などを調査。

その調査結果を前年の市場規模に乗じて算出

例)2014年の市場規模を算出する場合

2013年業態別市場規模
× 2014年業態別の対前年比(調査結果)
= 2014年業態別市場規模

調査対象企業数	惣菜白書2016年版	惣菜白書2015年版
専門店、他	7,230店(28社)	1,833店(15社)
百貨店	52店(5社)	21店(15社)
総合スーパー	1,907店(10社)	3,405店(30社)
食料品スーパー	2,169店(30社)	1,277店(23社)
CVS	48,658店(5社)	49,562店(10社)
合計	60,016店(78社)	56,098店(93社)

* 2016年版は、企業統合等を鑑み前年より現状に即した業態別の調査対象企業に変更しております。

消費者調査の設計

1、調査対象;首都圏(1都3県)、近畿圏(2府3県)、東北圏(6県)、九州圏(7県)に居住する20代~60代の女性を対象に実施

2、調査手法;インターネット調査 (2016年2月12日~16日)

3、回収数

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
首都圏	226	218	230	223	213	1,110
近畿圏	224	226	220	216	215	1,101
東北圏	149	151	148	152	145	745
九州圏	151	152	154	151	148	756
全体	750	747	752	742	721	3,712

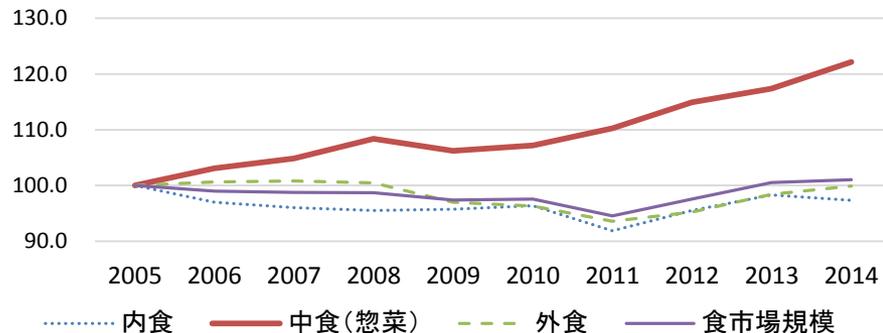
4、質問項目 ①種類別利用状況(購入頻度、場所、食事時間等)、②惣菜の購入状況(購入種類、購入金額、利用意向等)
 ③惣菜に関する意見、④食品全般に関する意見、⑤おせちに関する意見 ⑥恵方巻に関する意見、
 ⑦袋物惣菜に関する意見

1. 「食」の市場規模と構成比推移

食市場全体が伸び悩んでいるなか、2014年度の惣菜市場規模は9兆2600億円を突破し、10年前と比較すると122%を超えてきており、高齢化・核家族化・女性の社会進出を反映して、惣菜の利用が大きく増加している。

	内食	中食(惣菜)	外食	食市場計
2005年	357,824億円	75,804億円	243,903億円	677,531億円
2014年	348,223億円	92,605億円	243,686億円	684,514億円
05年－14年比	97.3%	122.2%	99.9%	101.0%

内食、中食(惣菜)、外食の市場規模推移(05年比) 単位: %



食市場が縮小傾向の中で、惣菜市場が国内の食シーンをけん引している。

2. 惣菜市場マーケットデータ

(1) 惣菜市場規模の推移

惣菜市場規模は堅調に推移し、2015年は9兆5,000億円を超える見込み。



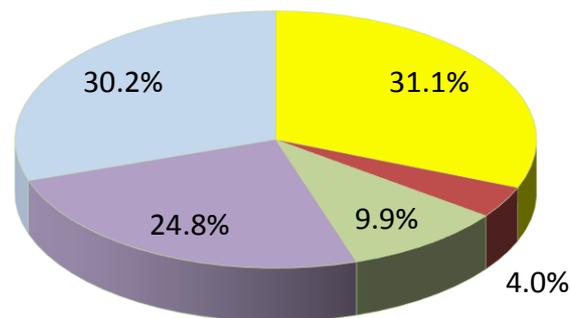
- ◆ 2014年惣菜市場規模は9兆2,605億円。
- ◆ 2015年見込の惣菜市場規模は9兆5,881億円。
- * 本誌では2005年からの市場規模推移を見ることができます。

	2013年	2014年	2015年見込
惣菜市場規模	88,962億円	92,605億円	95,881億円

(2) 業態別市場規模

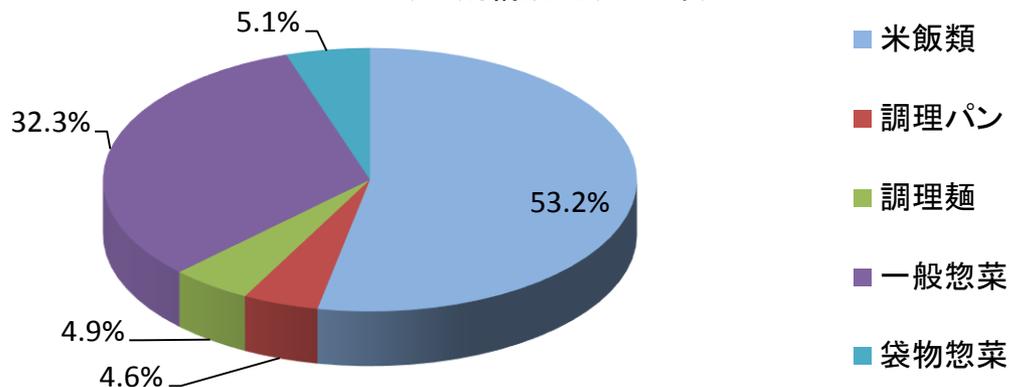
	2014年	構成比
専門店・他	28,788億円	31.1%
百貨店	3,699億円	4.0%
総合スーパー	9,203億円	9.9%
食品スーパー	22,987億円	24.8%
CVS	27,928億円	30.2%
合計	92,605億円	100.0%

業態別構成比(2014年)



(3) カテゴリー別構成比

カテゴリー別構成比(2014年)



- ◇ 「業態別構成比」ではCVSの存在感が年々増して、専門店・他に肉薄してきた。
 - ◆ 「カテゴリー別構成比」では米飯類が最も多く、次いで一般惣菜の売上構成比が大きくなっている。
 - ◆ 2012年度より調査を開始した袋物惣菜が潜在感を増してきている。
- *本誌では各業態別のカテゴリー構成比を見ることができます。**

消費者動向

消費者調査結果

①最近半年間での品目ごとの購入頻度（例；首都圏）

	1位	2位	3位	4位	5位
首都圏	弁当(48.4%)	おにぎり (47.3%)	コロッケ (38.3%)	サンドイッチ (37.7%)	にぎり寿司 (35.0%)

②業態別のよく利用する惣菜（例：デパート）

首都圏	にぎり寿司 / おこわ(類)、炊き込みご飯 / 巻寿司 / シューマイ / いなり寿司
近畿圏	肉まん / にぎり寿司 / コロッケ / 巻寿司 / おこわ(類)、炊き込みご飯
東北圏	にぎり寿司 / 焼とり / おこわ(類)、炊き込みご飯 / 豚カツ / 巻寿司
九州圏	コロッケ / おこわ(類)、炊き込みご飯 / 巻寿司 / いなり寿司 / 弁当

①品目ごと購入頻度

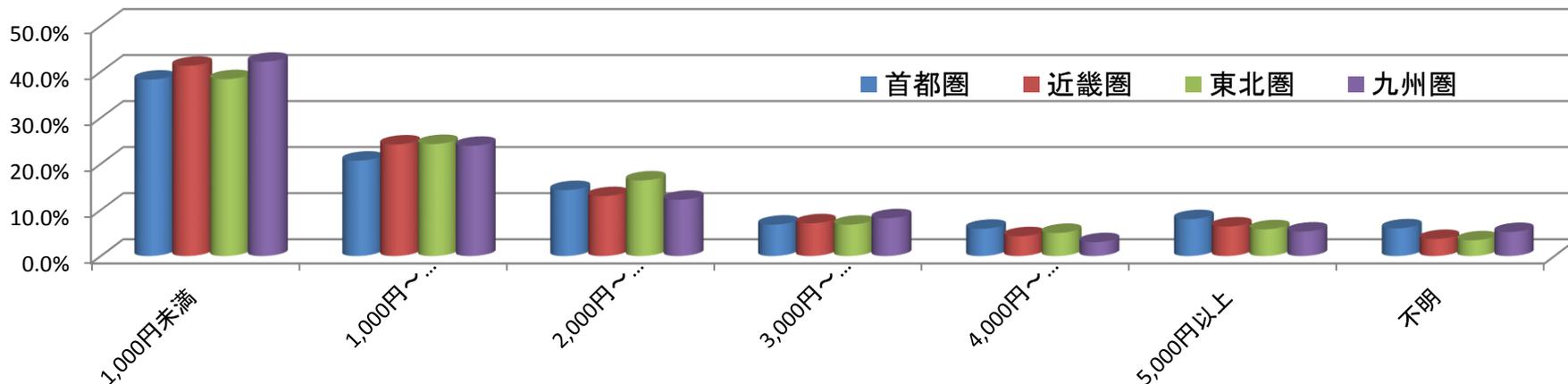
◆首都圏では「弁当」が1位。

②業態別のよく利用する惣菜

◆デパートでは、おこわ(類)、炊き込みご飯を購入する人が各エリアで上位

*** 本誌では業態別・エリア別以外にも、時間帯別(朝食・夕食等)や食事機会別(普段・来客時等)データを見ることができます。**

③、④惣菜の月平均購入金額

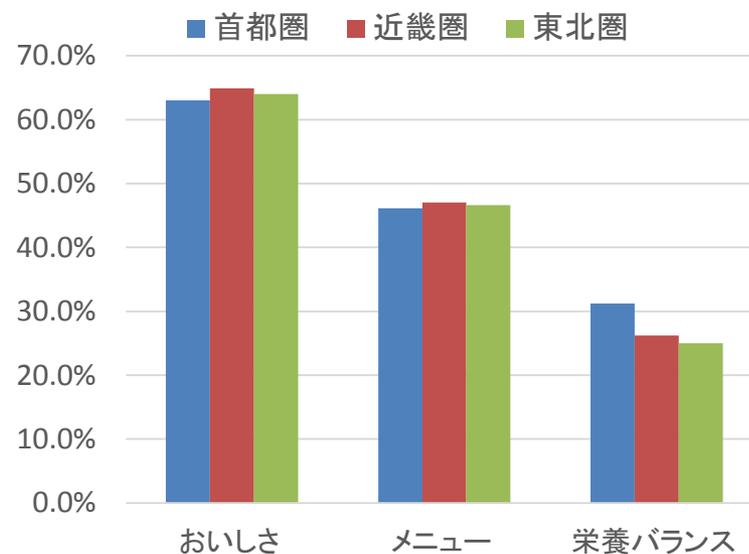


◆首都圏、近畿圏は、「1,000円未満」が増加する一方で、「2,000円～3,000円未満」が減っている。
 *本誌では4年間の時系列でエリア別以外にも、購入種類数や単価等の詳細データを見ることができます。

⑤惣菜購入時の選択基準

	首都圏	近畿圏	東北圏	九州圏
おいしさ	63.0%	64.9%	64.0%	61.2%
メニュー	46.1%	47.0%	46.6%	44.4%
栄養バランス	31.2%	26.2%	25.0%	27.4%

◆各エリアとも「おいしさ」が60%以上を占め最も重視。
 *本誌ではエリア別のより詳細なデータを見ることができます。



消費者動向

⑥おせちの購入

	首都圏	近畿圏	東北圏	九州圏
購入した	14.7%	19.0%	10.7%	19.6%
購入していない	85.3%	81.0%	89.3%	80.4%

⑦恵方巻の購入

	首都圏	近畿圏	東北圏	九州圏
購入した	25.2%	26.8%	27.4%	22.0%
購入していない	74.8%	73.2%	72.6%	78.0%

⑧袋物惣菜の購入

	首都圏	近畿圏	東北圏	九州圏
購入した	34.2%	51.7%	33.4%	38.0%
購入していない	65.8%	48.3%	66.6%	62.0%

*本誌では4年間の時系列でエリア別、購入場所(チャンネル)別、単価別等の詳細データを見ることができます。

惣菜市场動向調査では、2016年版は企業統合等を鑑み、前年版より現状に即した業態別の調査対象企業に変更し、よりマクロデータとしての信頼性を高める取り組みを行っております。

また、消費者動向調査では、個別商品の◎購入頻度 ◎購入店舗 ◎「いつ食べるか」 ◎「どんな時に食べるか」という4つの視点から調査を行い、惣菜の個別商品の使われ方を立体的に捉えると同時に、前回調査との比較により消費者意識の変化を捉え、個別商品がどのようなシーンで使われているかを明らかにすることを目的とした具体的な品目での調査を行っております。

ご購入を希望されます場合は、

◎「日本惣菜協会」ホームページ → 協会の役割 → 調査研究・出版物 → 出版物申込み

または、下記アドレスからお申し込み願います。

◎ <http://www.nsouzai-kyoukai.or.jp/outline/publishing/syosekikounyu/>